

平成18年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会山梨大会
第1分科会 意見・提案・報告 「人間・空間・時間 - 3つの間 - を繋ぐ」
実施要項

第1. 一般事項

1. 趣旨

建築あるいはその集合体である「まち」は「ひと、場所、とき」すなわち「人間・空間・時間」という3つの間を繋いでいる。

「3つの間のつながり＝関係性と融合性」への視点を抜きにしては、建築はありえない。今回は、この「関係性と融合性」をより深く見つめた建築のあり方を探っていきたい。

(人間・・・私、あなた、家族、住人、社会、etc)

(空間・・・場所、環境、住まい、街、etc)

(時間・・・現在、過去、未来、不変、変化、etc)

2. 募集内容

住まいづくりやまちづくりへの取り組みなどについて、「人間・空間・時間 - 3つの間 - を繋ぐ」をテーマに、幅広く意見・提案・報告を募集する。

応募数は、原則として、各建築士会あたり1件とする。

第2. 提出図書

1. 種別

- ◆ 意見・提案・報告の要旨を記載した発言要旨
- ◆ 意見・提案・報告の内容を分かりやすく説明した掲示用パネル(提出は自由とする。)

2. 発言要旨

a 用紙

- ◆ 用紙はA4版縦使いで、2枚とする。

b 書式

- ◆ Microsoft-Wordによる指定書式とする。

c 提出用ファイル

- ◆ 発言要旨集編集用にMicrosoft-WordファイルにしたものをCD-Rで提出する。
- ◆ ファイル名は、「都県名_no1sec.doc」(英数半角使用)とする。

3. 掲示用パネル

a 用紙

- ◆ 用紙はA 1 版 1 枚で縦使いとする。
- ◆ パネル化(発砲ポリスチレン等の軽量な材質で厚さ1 0 mm以内、アルミ枠付)して提出する。
- ◆ 用紙のレイアウトは任意とする。
- ◆ 用紙の種類はケント紙、電子コピー等とし、トレーシングペーパーは不可とする。

b 表現形式

- ◆ 全て応募者の自由とする。

4. 提出部数

- ◆ CD - R (発言要旨)、掲示用パネル (提出者のみ) 各 1 部

5. 提出方法

期限までに、持参または郵送で、関係図書を山梨県建築士会事務局に提出する。

- ◆ 提出期限：平成1 8 年3 月3 1 日必着
- ◆ 提出先 〒4 0 0 - 0 0 3 1 山梨県甲府市丸の内1 - 1 4 - 1 9
(社) 山梨県建築士会事務局
- ◆ 郵送により提出する場合は、その包装方法は任意とするが、提出作品が破損したり折れたりしないよう十分留意する。

6. 提出後の図書の取り扱い

大会終了後、掲示用パネルは返却する。

第3 . 審査

1. 最優秀発表者の選出

分科会において、最優秀発表者を1 名選出する。

2. 審査項目

最優秀発表者の選出にあたり、以下の事項に関して審査を行う。

- ◆ テーマとの整合性
- ◆ 建物やまちづくりに関する理解度
- ◆ 社会への貢献度
- ◆ 建築士会への貢献度
- ◆ 発言要旨の完成度
- ◆ プレゼンテーションの完成度

3. 審査員

審査員は、各建築士会の理事または理事が指名する者各1 名計1 0 名とする。

4. 審査方法

審査方法は、別途定める。

第4. 発表方法

1. 発表

発表時間は、1人あたり10分とする。

投影原稿は、Microsoft - PowerPoint (version 97 - 2003) で作成する。

スライド・OHP等の機材は準備しない。

準備予定機材は下記の通りとする。

- ◆ PC : DOS / V互換機 ノート型
- ◆ OS : Windows XP
- ◆ CPU : Pentium 1GHz程度 メモリ : 512MB程度
- ◆ プロジェクター
- ◆ スクリーン

審査方法

審査は、審査票に基づき点数制で行い、最多得点の者を最優秀発表者とする。

最多得点の者が複数あるときは、審査員の協議により最優秀発表者を決定する。

各審査項目は10段階評価（10点が最高評価）とし、6項目で60点満点とする。

各者の得点は、自建築士会以外の審査員9人の評価点の合計（540点満点）とする。

審査票

審査項目	細目	評価点 点数（1～10）記入
テーマとの整合性	◆ テーマ「人間・空間・時間 - 3つの間 - を繋ぐ」に対する理解が適切か。	
建物やまちづくりに関する理解度	◆ 正確な知識、経験に裏付けられた内容であるか。 ◆ 専門的職能としての建築士らしい視点であるか。 ◆ 発想に独自性が認められるか。	
社会への貢献度	◆ 社会に役立つ内容であるか。 ◆ 広く社会に発信できる手法が考えられているか。	
建築士会への貢献度	◆ 会員にとって有益な内容であるか。 ◆ 建築士会の活性化に寄与するものであるか。	
発言要旨の完成度	◆ 論理的な内容であるか。 ◆ 理解しやすい表現であるか。	
プレゼンテーションの完成度	◆ 聞き取りやすく分かりやすい発表であるか。 ◆ 魅力的かつ独創的な発表であるか。 ◆ 制限時間を守っているか。	
評価点合計		

発言要旨書式

用紙サイズ	◆ A4版 縦使い 2枚
余白	◆ 上下左右20mm
レイアウト	◆ 横書き ◆ 「タイトル」 1ページの1行目 ◆ 「都県名」「氏名」 1ページの2行目 ◆ 顔写真（JPEG 縦35mm程度×横25mm程度） 1ページの1、2行目の右端に配置する。これにあわせて各行のレイアウトを調整する。 ◆ これ以外のレイアウトは自由
フォント	◆ MSゴシック
フォントサイズ	◆ 「タイトル」 12 ◆ 「都県名」「氏名」 10.5 ◆ その他 10.5
写真・図表など	◆ 挿入貼付けは自由（白黒印刷でも判別できること）
その他事項	◆ 自由